

## 地区路線 B の継続基準について

### 【経緯】

地区路線 B の継続基準に関しては、令和 2 年度の会議からの継続案件となっており、本年度 1 回目の会議においても審議継続となりました。地区路線 B は 2020 年 10 月に 1 路線、2021 年 9 月に 2 路線を導入していますが、実働年月が短いことやコロナ禍中での導入ということもあり、基準設定をするための判断材料（データ）が不足していることなどの理由で、基準の設定には至りませんでした。一方で、基準を設定することに対しては会議で賛同をいただいております、基準の必要性は認められているところです。

将来的な移動手段の改善や、交通事業者との長期契約（現在は 1 年ごとに入札を実施しており、毎年事業者が代わる可能性があります）によるサービスの安定化のためにも、早期に基準設定したいとするものです。また、継続基準の役割や使い方について、下記のように定めます。

- ・継続基準は、路線廃止のために使うのではなく、**別の交通手段への変更を検討するための指標**として活用する。
- ・公共交通手段は環境の変化に応じて、適切な手段も変化していくため、**今回の基準は永続基準ではなく**、対象とする期間を満了した際には改めて基準の適切性を検証し、**随時最適化を図るものとする**。

---

### 令和 4 年度第 1 回会議における継続基準に対する委員指摘

---

- ・地区路線 B の継続基準について、指標の算定期間を 4 月～10 月とするのではなく、半年を 1 期として算定するなど恣意的な期間設定とならぬよう、また、算定に反映されない期間が発生しないように設定すること。
- ・地区路線 B の継続基準について、収支率だけにするのではなく、（小学生や障がい者といった無料利用実績が継続検討に反映されるよう）利用者人数の指標も設けること。
- ・地区路線 B の継続基準について、内容や廃線後の取り扱いについて地元バス会とも情報共有して意見を聞くこと。
- ・地区路線 B の継続基準について、「代替モードの検討」という項目を増やして、（いつ頃から検討を行うかなど）資料に記載すること。

## 地区路線 B の継続基準について

項目	令和 4 年度第 1 回会議での提案	今回提案
指標①	4 月から～ 10 月の収支率	令和 5 年 4 月から令和 7 年 9 月までの期間を対象に、6 か月ごとの 1 日あたり利用者数 ※6 か月ごとのため、5 期
指標②		令和 5 年 4 月から令和 7 年 9 月までの期間を対象に、6 か月ごとの収支率 ※6 か月ごとのため、5 期
基準 数値①	収支率 10%	30 人/日
基準 数値②		収支率 10%
判定 時期	11 月に判定する。判定は 3 年に 1 度行う。 ※令和 4 年 9 月に導入した場合は、令和 6 年 11 月。	令和 7 年 10 月に判定する。
判定 詳細	指標が 1 年分でも基準を超えれば継続（次回判定は 3 年後）。 3 年分とも指標を下回った場合は、過年度の実績が上昇傾向であれば継続。上昇する見込みがなければ、判定年度の年度末で廃線。	指標①もしくは指標②が基準を超えれば継続。 ※例 1 令和 5 年 4 月～9 月の第 1 期の段階であっても基準をクリアすれば、令和 8 月 4 月以降の継続確定。 ※例 2 令和 7 年 9 月までの計 5 期に渡って 1 度も基準をクリアできない場合は、他の交通手段に変更。
代替交通手段 の検討	—	基準をクリアする見通しが立たない場合は、令和 7 年 10 月の判定時期を待たずに、代替手段の検討を地区バス会とともに開始し、令和 8 年 4 月からの速やかな移行を目指す。
その他	コロナ禍をはじめとする天災など不可抗力が原因で利用が低下する期間は判定期間から外す。	様々な環境変化に伴って利用が低下した場合、改善の見通しが立たないならば、他の交通手段を検討・導入する。

## 地区路線 B の継続基準について

**【判定の流れ】**

- ①令和 5 年 4 月から、半年ごとに 1 日あたり利用者数と収支率を算出。
- ②令和 5 年度から令和 7 年度までの計 5 期のうち、1 期でも基準を超えていれば継続が確定。
- ※令和 8 年度以降の継続基準について、今回と同一とするか変更するかは、改めて公共交通会議で協議・決定。
- ③全 5 期で 1 度も基準を超えなければ代替交通手段へ移行。
- ※代替交通手段の検討は、必要性に応じて、令和 7 年度を待たずに進める。

**【例】**  
 2 期の実績が 30 人/日、もしくは収支率 10%を越えれば、令和 8 年度以降も継続が決定。

令和5年度	1期						2期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和6年度	3期						4期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和7年度	5期						↓最終判定時期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

## 地区路線 B の継続基準について

### ■参考：地域別データの整理

・各地区の人口や路線の利用状況（実績資料再掲）

地区	居住人口 (人) R3.9.1	運転免許非保有者 人口推計値 (人)	65 歳以上人口 (人)	65 歳以上運転免許非保 有者人口推計値 (人)
岩滑	7,784	2,320	2,115	764
成岩	7,004	2,109	1,869	675
瑞穂	6,012	1,699	1,378	497

地区	2020 年度		2021 年度		2022 年度 (4 月～10 月)		2022 年度 (11 月単月)
	利用者数 (人)	収 支 率	利用者数 (人)	収 支 率	利用者数 (人)	収 支 率	利用者数 (人)
	(人/日)		(人/日)		(人/日)		(人/日)
岩 滑	2,500	8.5	5,722	7.3	3,432	5.7	574
	20.3		23.5		24.0		28.7
成 岩	—	—	2,550	6.7	3,281	6.1	622
	—		18.0		22.9		31.1
瑞 穂	—	—	1,903	4.8	2,378	3.7	436
	—		13.4		16.6		21.8